

## 謹んで新年のごあいさつを申し上げます

昨年も潮来市の皆さまから格別のご声援を賜り、誠にありがとうございました。

2024シーズンは、8年ぶりの国内タイトル奪還を目指し、新監督のもとで開幕を迎えました。明治安田J1リーグは5位に終わり、タイトル獲得を逃す悔しいシーズンとなりましたが、ホームタウンの皆さまの力強い応援のおかげで、ホームゲーム年間無敗とともに、ホーム開催試合の平均観客動員数が過去最多を記録することができました。チームはキャプテンの柴崎岳選手、副キャプテンの植田直通選手、鈴木優磨選手たちを中心に最後まで下を向くことなく戦い抜き、ボランチにコンバートした知念慶選手とルーキーの濃野公人選手はJリーグベストイレブンに選ばれるなど、次につながるシーズンとなりました。最後までともに戦い、クラブを後押ししていただいたことに対し、改めて感謝を申し上げます。

2025シーズン、鹿島アントラーズは新体制のもとで、新たな戦いに挑みます。これから地域に根ざしたクラブとして、皆さまに「誇り」と「感動」を与えられるよう、タイトル獲得に向けて精進してまいりますので、引き続き熱いご声援をお願いいたします。

年頭にあたり、潮来市の皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

株式会社鹿島アントラーズFC



## 地域おこし協力隊通信

第68回

リポーター…

高橋将行 隊員



潮来市のみなさま、新年あけましておめでとうございませう。本年もどうぞよろしくお願ひします。

みなさま、大晦日・元日はどちらでお過ごしでしたでしょうか。私は実家の八王子に帰省しまして、家族でのんびりと過ごしました。今年は高橋ファミリア(両親・兄夫婦と姪二人・姉夫婦と甥一人・私の計11人が勢ぞろいしました。

全員が揃うのは7、8年ぶりでしょうか、幼い頃はケンカばかりしていた私たち兄弟も幾分落ち着いたように見えました。また、甥姪の身体は随分と大きくなり、私たち兄弟の幼少期の頃のように正月早々から家中を賑やかしていました。

元日、ふと誰かの提案で家族写真を撮影することになりました。正月早々から女性陣は化粧をし、男性陣は髪の毛をセットし、元日らしからぬ慌ただしい光景です。その後、自宅を背景に写真撮影。

シャッター音が鳴る直前、ふと「今後、全員が集まれることは多くはないかも」という考えが私の頭を過りまして、思わず涙が零(こぼ)れてしま

いました。「えっ、何で泣いてるの?」と家族一同、初笑い。2025年元日はフィルムにも家族の記憶にも残りそうない日でした。

さて、月1で発行しております「潮来市地域おこし協力隊しんぶん」の掲載にもございましたとおり、昨年12月をもちまして羽下健太隊員が卒業いたしました。今後は青年海外協力隊としての海外赴任を目指し、今月からは国内にて研修等を受けているとのこと。

羽下さんの話によると、今年の春頃より、東アジアにある東ティモールという、2002年に独立した国に赴任になる予定とのこと。この国では「テトウン語」や「ポルトガル語」を使用、主要産業は農業や石油・天然ガスの開発とのこと。農業分野において、輸出用作物としてコーヒーに力を入れており、日本の飲食チェーン店でも、東ティモール産のコーヒーを召し上がれます。

彼が卒業、新たな一歩を踏み出したことを応援するとともに、私も小林も3月の卒業に向けて、ラストスパートを頑張りたいと思います。



羽下さんへの  
メッセージはこちら